

参 考 手 本

散策して塵外に遊ぶ

外 散  
游 策  
塵

高 木 聖 雨 先 生

※これは規定課題ではありません。

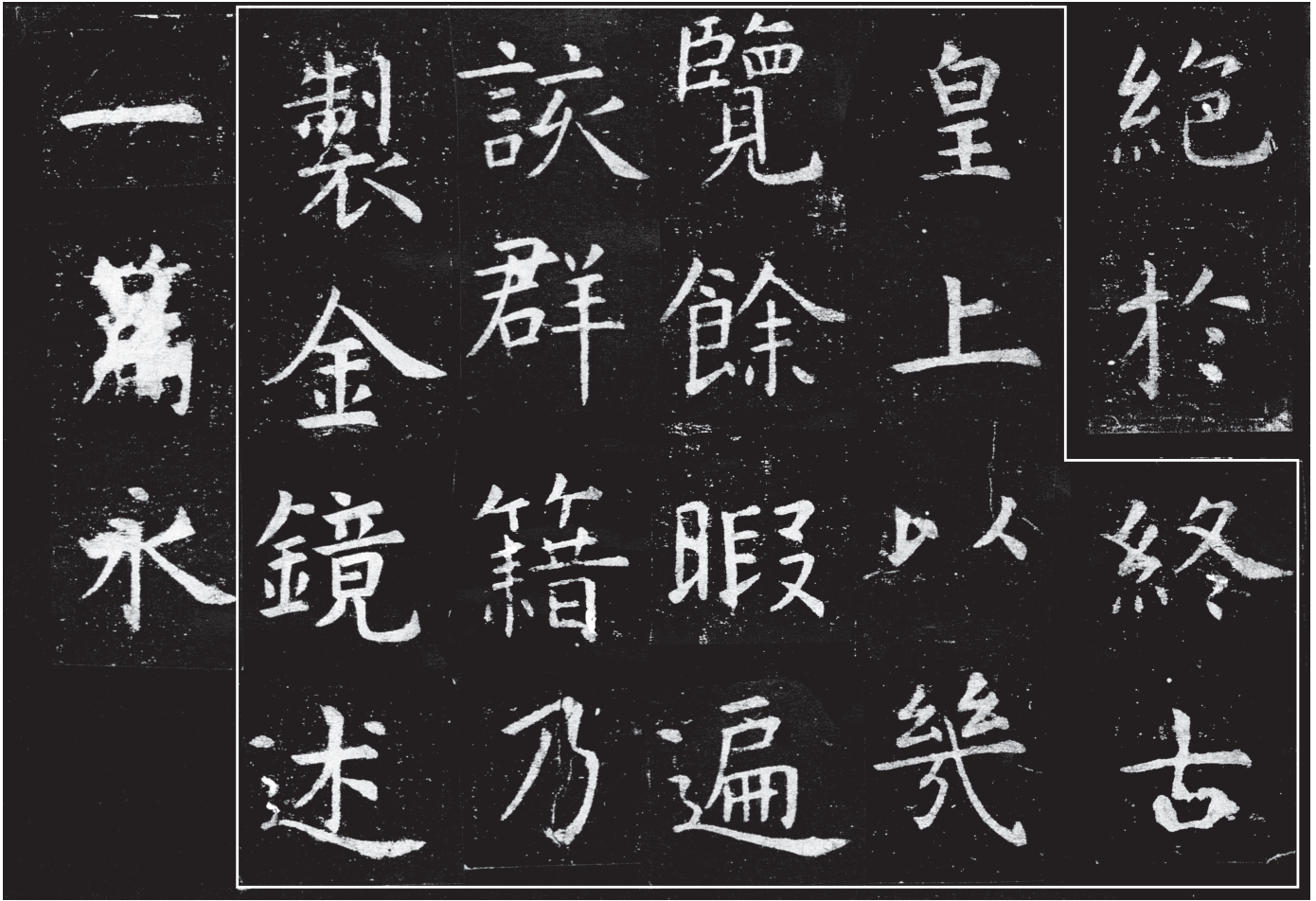
参 考 手 本

秋風枝上鮮かなり

上 秋  
鮮 風  
枝

成 瀬 映 山 先 生

※これは規定課題ではありません。



ぐせいなん  
虞世南 (唐) 『孔子廟堂碑』 ⑧

絶於終古。皇上以幾覽餘暇。遍該群籍。乃製金鏡述一篇。永

しゅうこ  
終古に絶ゆる (無し)。皇上幾覧の餘暇に、  
あまね 遍く群籍に該れるを以て、乃ち金鏡を製し  
て一篇を述べ、永く (鑑戒を)

絶えることなく、ここにとりおこなわれたのである。皇  
帝陛下は、政治をよくごらんになる余暇にも、あまねく  
書籍に目を通され、「金鏡」なる一篇を述べ作られ、永  
遠に

【今月の課題】

「終古皇上以幾覽餘暇遍該群籍乃製金鏡述」(18字)

〔この課題を同月の条幅随意には出品出来ません〕

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く  
段・級を記入してください

(1月10日締切)

条幅規定 ②

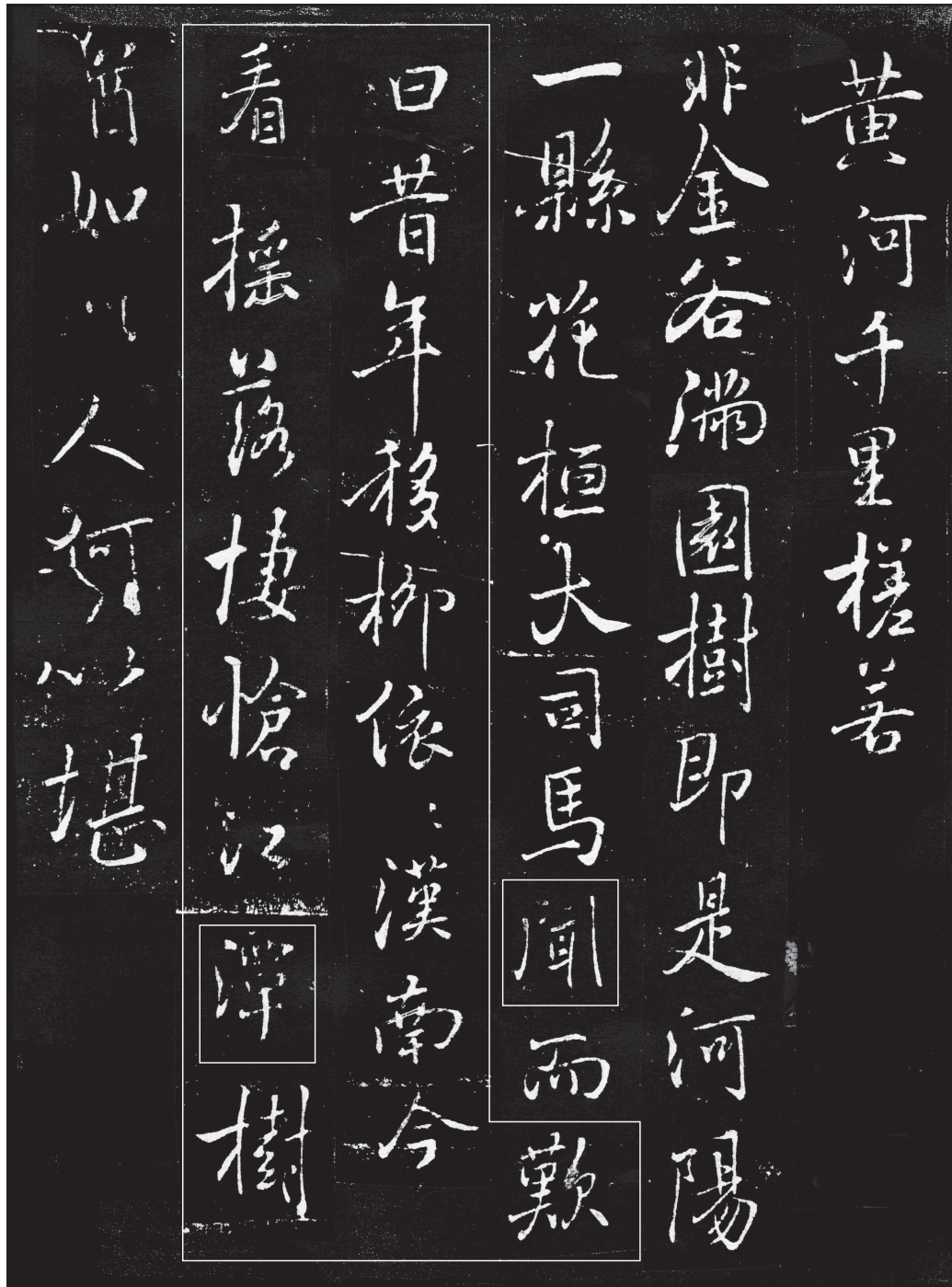
B部 (四段以下)

『枯樹賦』

褚遂良

(唐)

②5



黄河千里槎。若

非金谷滿園樹。即是河陽

一縣花。桓大司馬聞而

歎曰。昔年移柳。依依漢

南。今看搖落。悽愴江潭。樹

猶如此。人何以堪。

黄河千里の槎。若し金谷満  
園の樹に非ざれば、即ち是

れ河陽の一県花と。桓大司馬

聞きて歎じて曰く、昔年柳を

移して、漢南に依々たり、今

揺落するを見て、江潭に悽愴

たり。樹すら猶お此くの如し。

人は何を以てか堪えん。

【今月の課題】「歎曰昔年移柳依依漢南今看搖落悽愴江潭樹」(18字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・綴を記入して下さい

(1月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



秦漢之際曹

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

焉を氏とす秦漢之際曹参

泉出瑞應圖

半紙規定 (二)



※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔二級以下〕楷書

醴泉出づ」と。「瑞應図」に

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕  
(1月10日締切)

条幅参考手本

門前洛陽道門裏桃源路塵土  
與煙霞其間十餘步  
劉禹錫詩意後

大井岳陵先生

門前洛陽道 門裏桃源路 塵土與煙霞 其間十餘步  
門前洛陽の道 門裏桃源の路 塵土と煙霞と 其の間十余歩

田辺紅園先生

何處秋風至 蕭蕭送雁群  
朝來庭樹 孤客最先聞  
東下庭樹 孤客最先聞

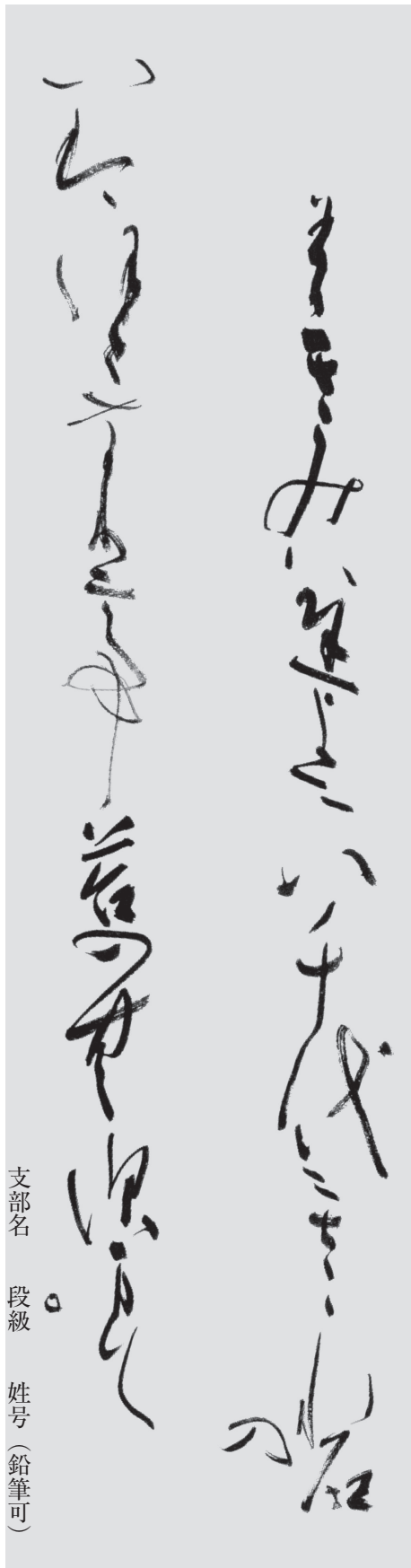
何處秋風至 蕭蕭送雁群 朝來庭樹 孤客最先聞  
何れの処よりか秋風至る 蕭蕭として雁群を送る 朝來庭樹に入る 孤客最も先に聞く

条幅かな

条幅参考手本

わが君は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで (読人しらす)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。



支部名 段級 姓号 (鉛筆可)

浮 乗 清 郷 先 生

涼風悄然來 竹影窗前碎 何人帶月歸 隔溪聞犬吠  
涼風悄然として来り 竹影窓前に碎く 何人か月を帯びて帰るならん 溪を隔てて犬の吠ゆるを聞く



鰐 淵 碧 桃 先 生

(1月10日締切)

半紙かな（1級以下）

歌留多とる皆美しく負けまじく（高浜虚子）

歌留多とる

支部名 級 姓 号 (鉛筆可)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

春の野の若菜ならねど君がためとしの数をもつまむとぞ思ふ（伊勢）

若 月 久美子 先生

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(1月10日締切)

浮 乘 清 郷 先生



# 実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

年賀状の賀詞は目上の人に対して、

謹賀新年等の四文字が相応しい。

迎春、寿等には敬いの意味が含

まれず、失礼に当ります。

支部 段級 姓 号

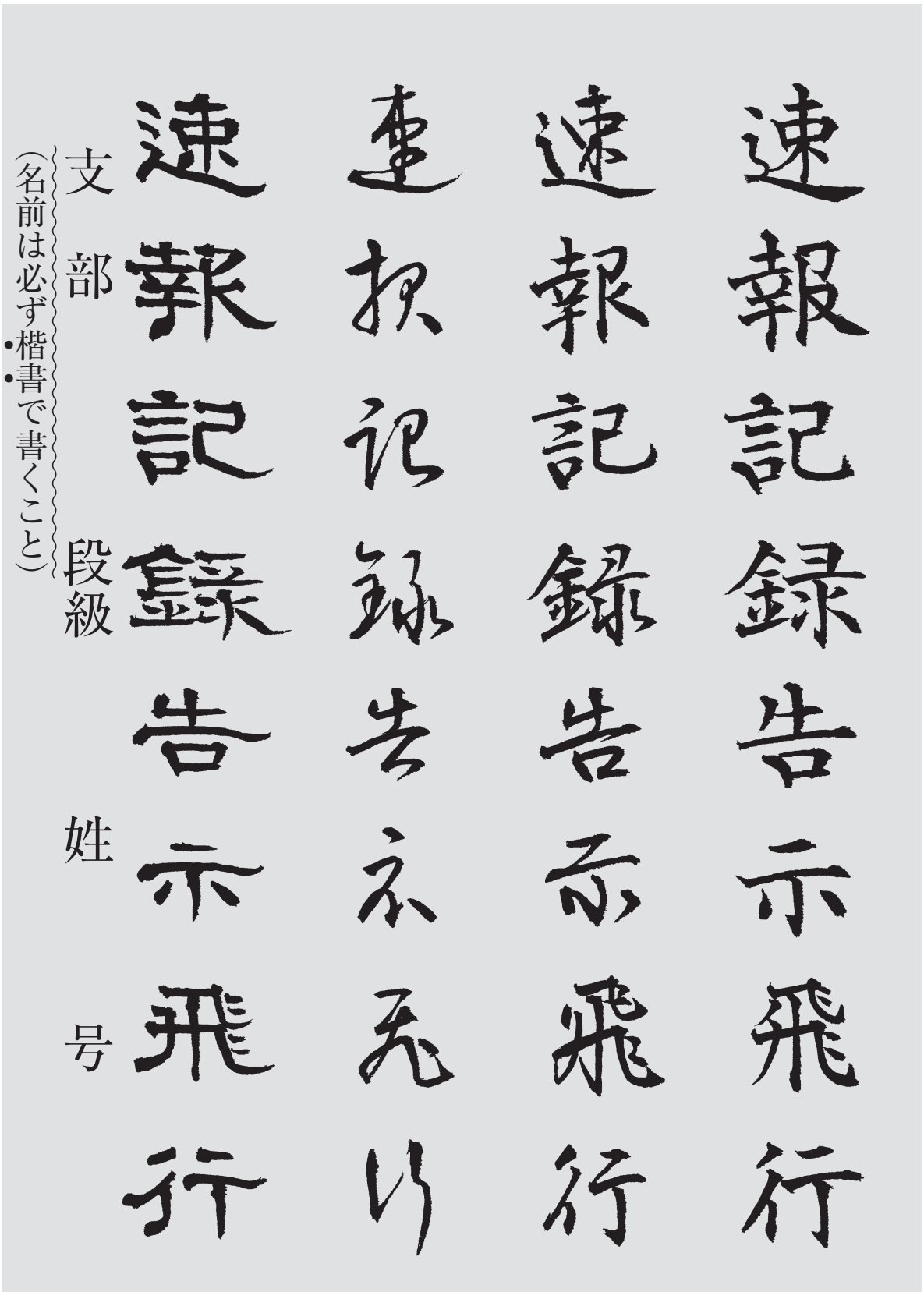
〈書風任意〉

…相応（ふさわ）しい…

主 幹 菅 野 翠 濤

(1月10日締切)

細 字



※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

告 示 (一般に知らしめる。)

(1月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

雪椿は、日本海側の雪深い地域で  
しか見られない貴重な木です。

支部  
級  
姓  
号

齊藤 翡翠流 先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…経て…年の瀬…過し…。

日々に湧き立つさまざまな出来事  
を穏やかに迎える年の瀬をでえるだけ  
心穏やかに過ごしたい。

支部  
名  
姓  
号

青柳 江雲 先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

(1月10日締切)

小6用

初春の空

渡  
邊  
南  
嶂  
先  
生

中1用

光る新雪

渡  
邊  
南  
嶂  
先  
生

中2用

新春大空

渡  
邊  
南  
嶂  
先  
生

中3用

雪花新春

大  
越  
三  
宗  
先  
生

小1用

ふじ

鈴木 翡翠 先生

小2用

はつゆめ

鈴木 翡翠 先生

小3用

お年だま

鈴木 翡翠 先生

小4用

正月の空

大越 三宗 先生

小5用

天下の春

大越 三宗 先生

小6用

先生のご健康を、おいのり申し上げます。

田辺翠鶴先生

中1用

新年を迎え、みなさまのご幸福を祈ります。

青柳江雲先生

中2用

お互いに最良の年になるよう、努力しよう。

青柳江雲先生

中3用

残り少ない中学生生活を有意義に過ごそう。

青柳江雲先生

小1・幼年用

ことしはじめて、かき  
ぞめをしました。

鈴木 蕙 翠 先生

小2用

先生、ことしもよろし  
くおねがいます。

鈴木 蕙 翠 先生

小3用

かきぞめ大会で、金し  
ょうをとりたいです。

鈴木 蕙 翠 先生

小4用

弟といっしよに、年が  
じょうを書きました。

田 辺 翠 鶴 先生

小5用

父に年がじょうの書キ  
方を教えてもらった。

田 辺 翠 鶴 先生